

2026年3月期 決算短信補足資料

2026年4月30日(木)

【名証メイン市場】 証券コード:6111

 旭精機工業株式会社

2026年3月期 決算のポイント

売上高は積極的な営業活動を展開するとともに、生産性の向上に一層の注力をした結果、前期比13.8%増加の133億9千3百万円となりました。

()は前期比

精密金属加工品: 41億8百万円 (+6.7%)

✓ 2026年2月から生産を開始しました次世代自動車部品(xEV部品)を含めた自動車部品が増加

小口径銃弾: 46億6千5百万円 (+6.6%)

✓ 政府の予算執行を受け、増加

プレス機械: 31億4千2百万円 (+20.9%)

✓ 電気自動車(EV)向け電池缶製造用の大型機種が増加

ばね機械: 7億2千7百万円 (+21.3%)

✓ 大型機種を含めた受注増により、増加

自動機・専用機: 7億1千2百万円 (+119.6%)

✓ 自動車向けの大型機種が増加

2026年3月期 全社業績概況



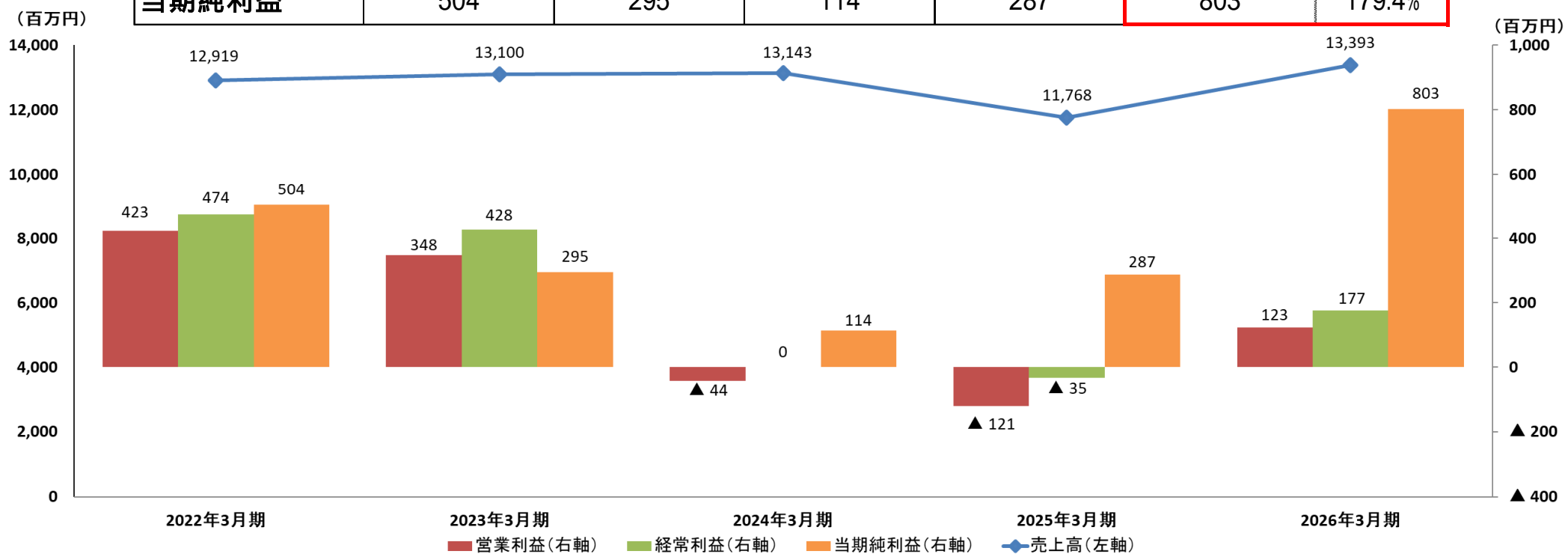
(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	前年比
売上高	12,919	13,100	13,143	11,768	13,393	13.8%
営業利益	423	348	44	121	123	-
経常利益	474	428	0	35	177	-
当期純利益	504	295	114	287	803	179.4%
1株当たり 当期純利益	207円64銭	118円78銭	45円99銭	115円60銭	337円04銭	-
1株当たり 配当金	70円00銭	70円00銭	70円00銭	60円00銭	60円00銭	-
配当性向	33.7%	58.9%	152.2%	51.9%	17.8%	-

2026年3月期 売上高・利益推移

(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	前年比
売上高	12,919	13,100	13,143	11,768	13,393	13.8%
営業利益	423	348	44	121	123	-
経常利益	474	428	0	35	177	-
当期純利益	504	295	114	287	803	179.4%

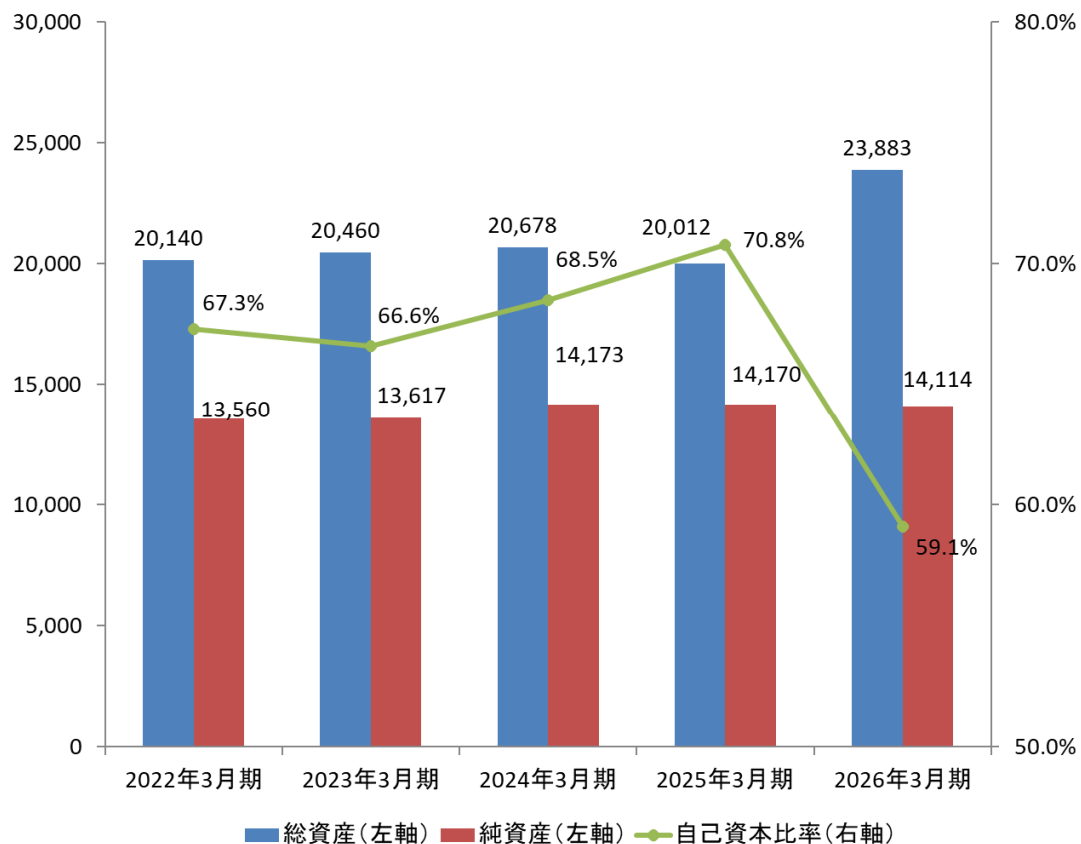


2026年3月期 財政状態の推移

(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
総資産	20,140	20,460	20,678	20,012	23,883
純資産	13,560	13,617	14,173	14,170	14,114
自己資本比率	67.3%	66.6%	68.5%	70.8%	59.1%
1株当たり純資産(円)	5,448円11銭	5,471円65銭	5,694円95銭	5,694円17銭	6,157円12銭

(百万円)



資産、負債及び純資産の状況

(資産) : 238億8千3百万円、前期末比+38億7千万円

- ✓ 流動資産では、主に、仕掛品が9億4千8百万円、製品が3億2千4百万円それぞれ減少したものの、現金及び預金が18億2千万円、売掛金が6億9千1百万円それぞれ増加。
固定資産では、主に、投資有価証券が5億1千9百万円減少したものの、機械及び装置が15億9千万円、建設仮勘定が3億9千1百万円、建物が3億8千1百万円それぞれ増加。

(負債) : 97億6千8百万円、前期末比+39億2千6百万円

- ✓ 流動負債では、主に、買掛金が4億8千5百万円、未払金が4億4千3百万円、電子記録債務が4億2千2百万円それぞれ増加。
固定負債では、主に、長期借入金が24億3千7百万円増加。

(純資産) : 141億1千4百万円、前期末比 5千6百万円

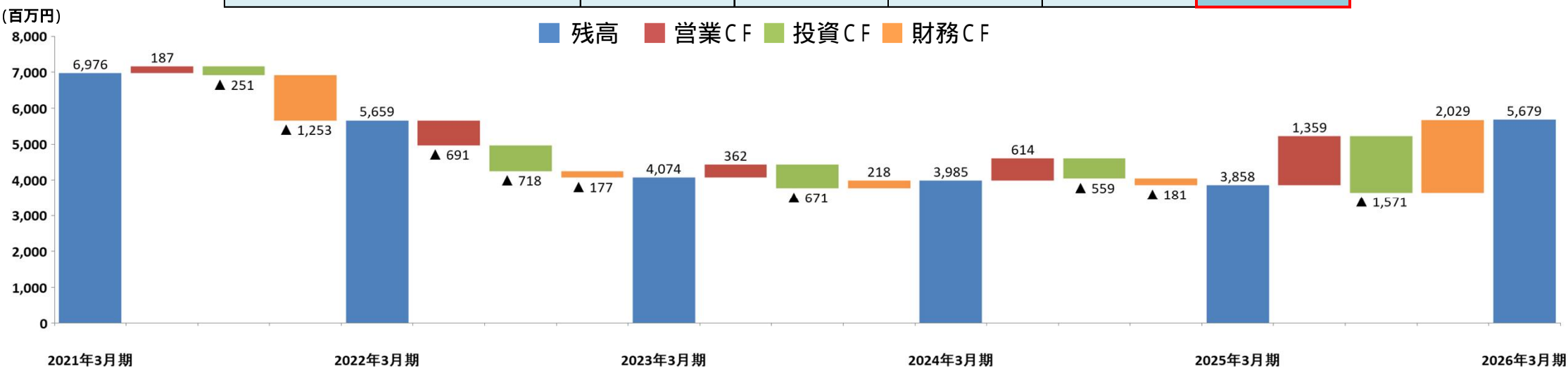
- ✓ 主に、繰越利益剰余金が6億5千4百万円増加したものの、自己株式が4億1千4百万円増加したこと及びその他有価証券評価差額金が2億9千6百万円減少。

2026年3月期 キャッシュ・フロー推移



(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	187	691	362	614	1,359
投資活動によるキャッシュ・フロー	251	718	671	559	1,571
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,253	177	218	181	2,029
現金及び現金同等物の期首残高	6,976	5,659	4,074	3,985	3,858
現金及び現金同等物の期末残高	5,659	4,074	3,985	3,858	5,679



キャッシュフロー状況

当事業年度における現金及び現金同等物は56億7千9百万円、前期末比18億2千万円増加

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

- ✓ 前年期末より主に、投資有価証券売却益を9億3百万円計上したこと及び売上債権の増加により8億3千9百万円減少したものの、棚卸資産の減少により10億5千6百万円増加したこと及び減価償却費を7億6千7百万円計上。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

- ✓ 前年期末より主に、投資有価証券の売却により10億4千6百万円増加したものの、有形固定資産の取得により24億1千4百万円支出。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

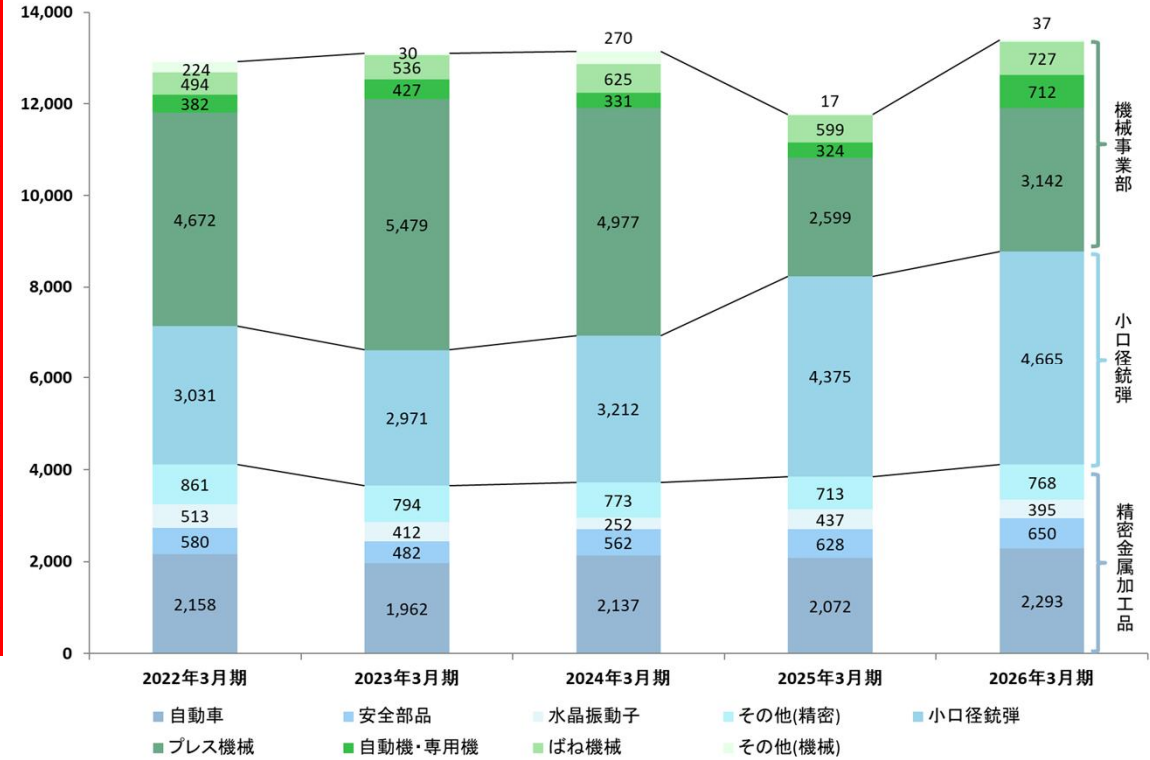
- ✓ 前年期末より主に、自己株式の取得により4億1千4百万円支出したものの、長期借入金の借入により26億円の収入。

2026年3月期 セグメント別売上高推移

(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	前年比
精密加工事業部	7,145	6,625	6,937	8,227	8,774	6.6%
精密金属加工品	4,113	3,653	3,725	3,851	4,108	6.7%
自動車	2,158	1,962	2,137	2,072	2,293	10.7%
安全部品	580	482	562	628	650	3.5%
水晶振動子	513	412	252	437	395	9.6%
その他(精密)	861	794	773	713	768	7.8%
小口径銃弾	3,031	2,971	3,212	4,375	4,665	6.6%
機械事業部	5,774	6,474	6,205	3,541	4,619	30.4%
プレス機械	4,672	5,479	4,977	2,599	3,142	20.9%
自動機・専用機	382	427	331	324	712	119.6%
ばね機械	494	536	625	599	727	21.3%
その他(機械)	224	30	270	17	37	107.1%
合計	12,919	13,100	13,143	11,768	13,393	13.8%

(百万円)



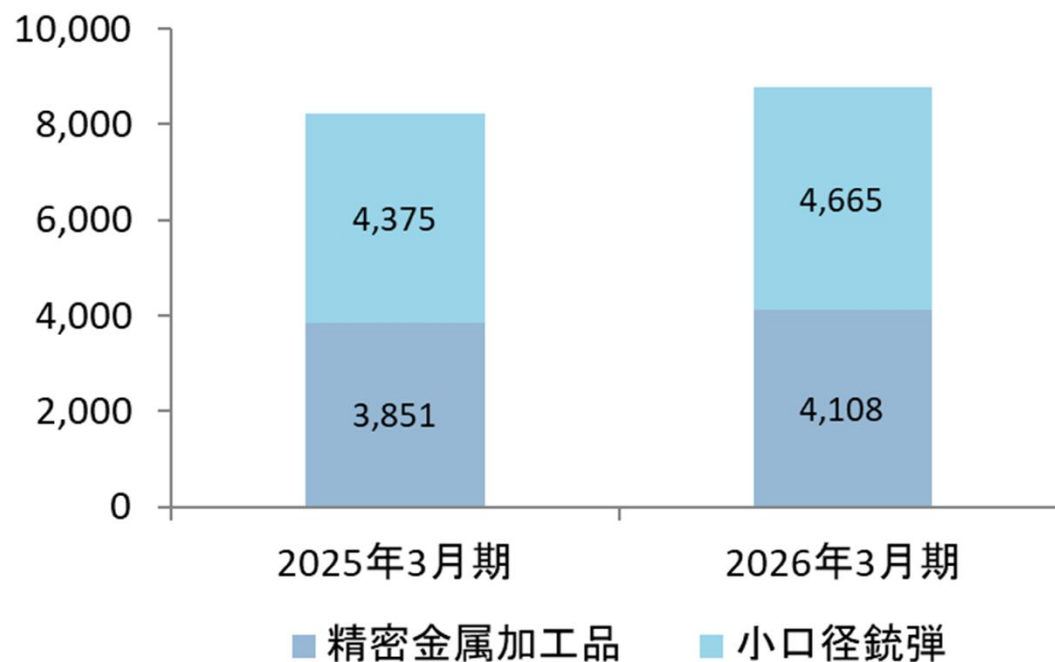
2026年3月期 精密加工事業部 業績概況



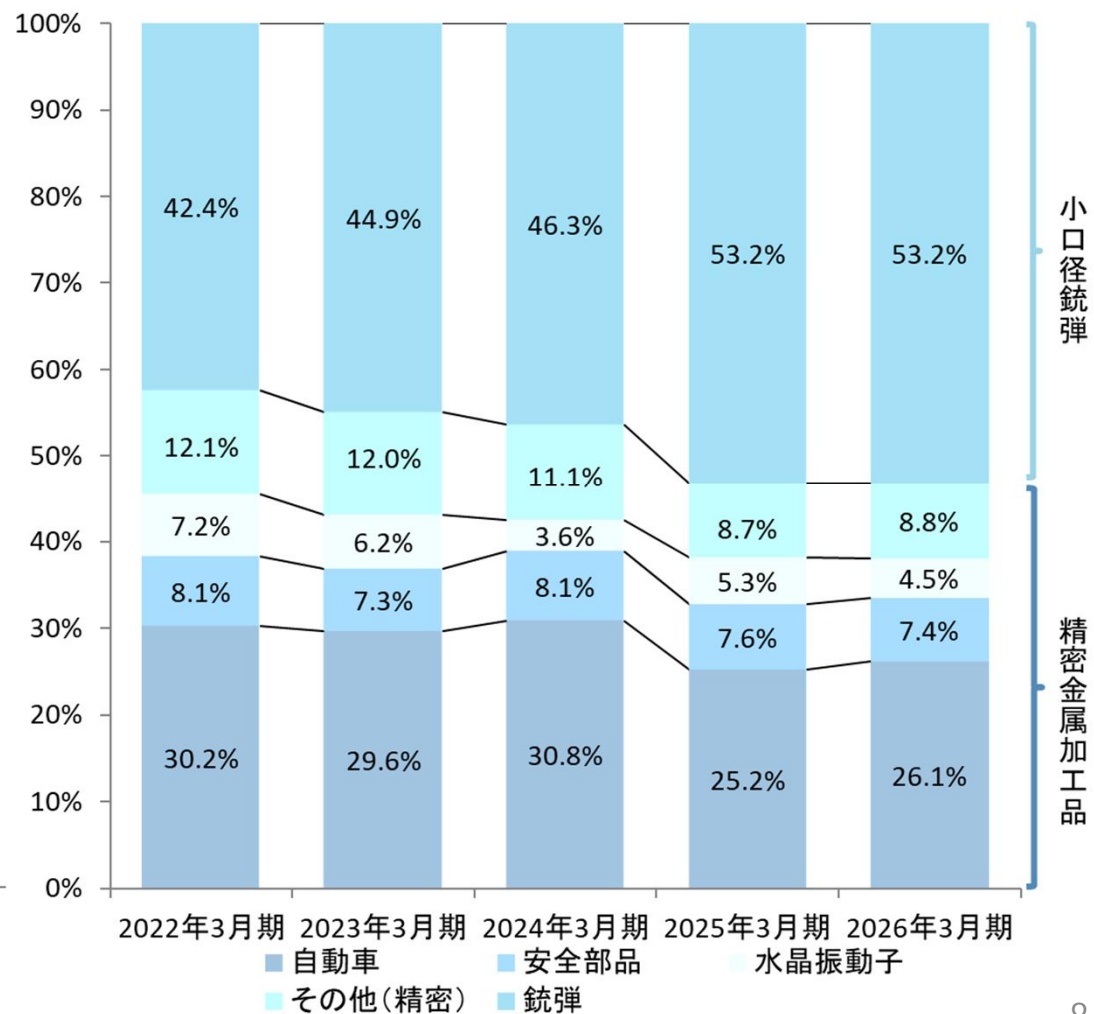
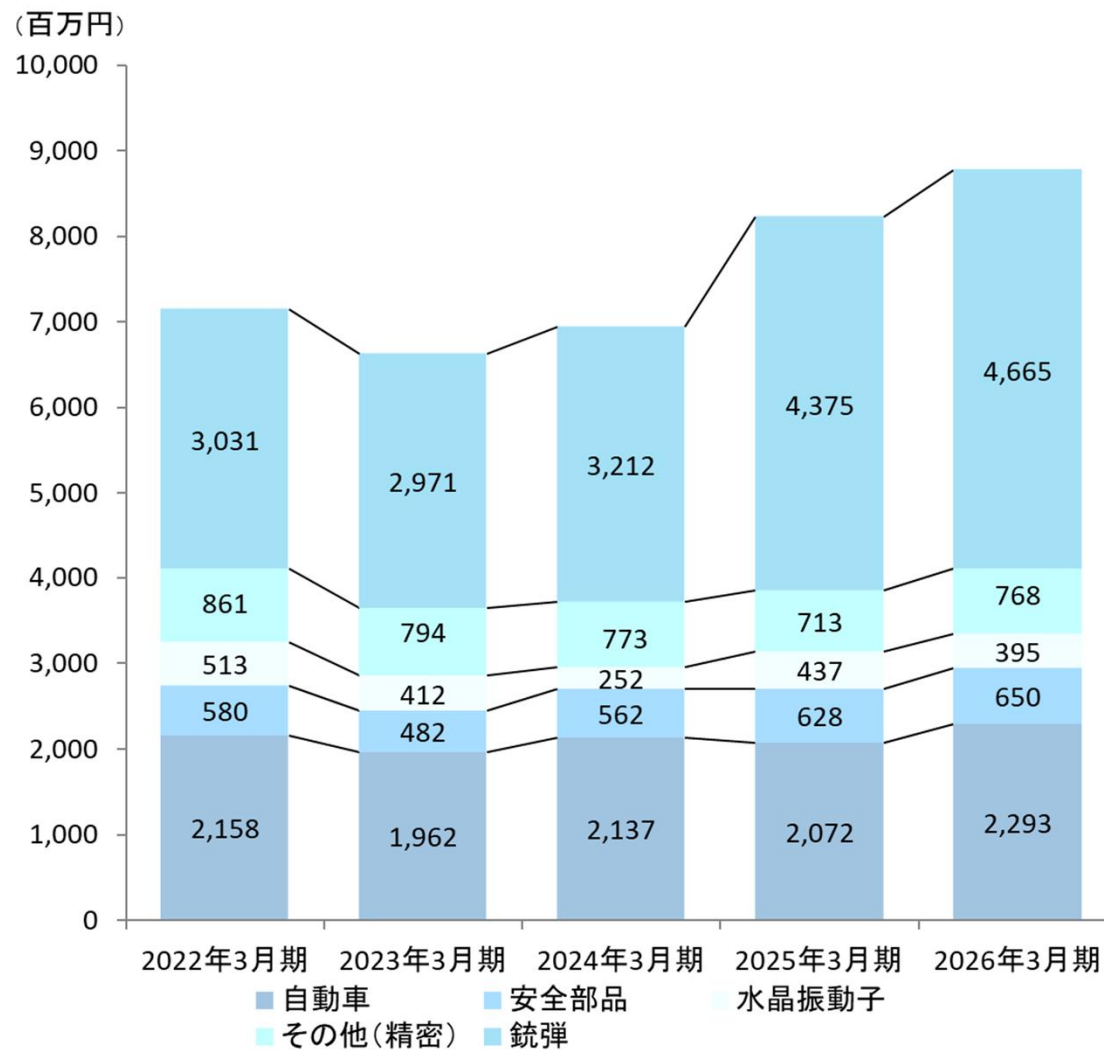
(単位:百万円)

	2025年3月期	2026年3月期
精密金属加工品	3,851	4,108
小口径銃弾	4,375	4,665
合計	8,227	8,774

(百万円)



2026年3月期 精密加工事業部 売上推移及び構成比

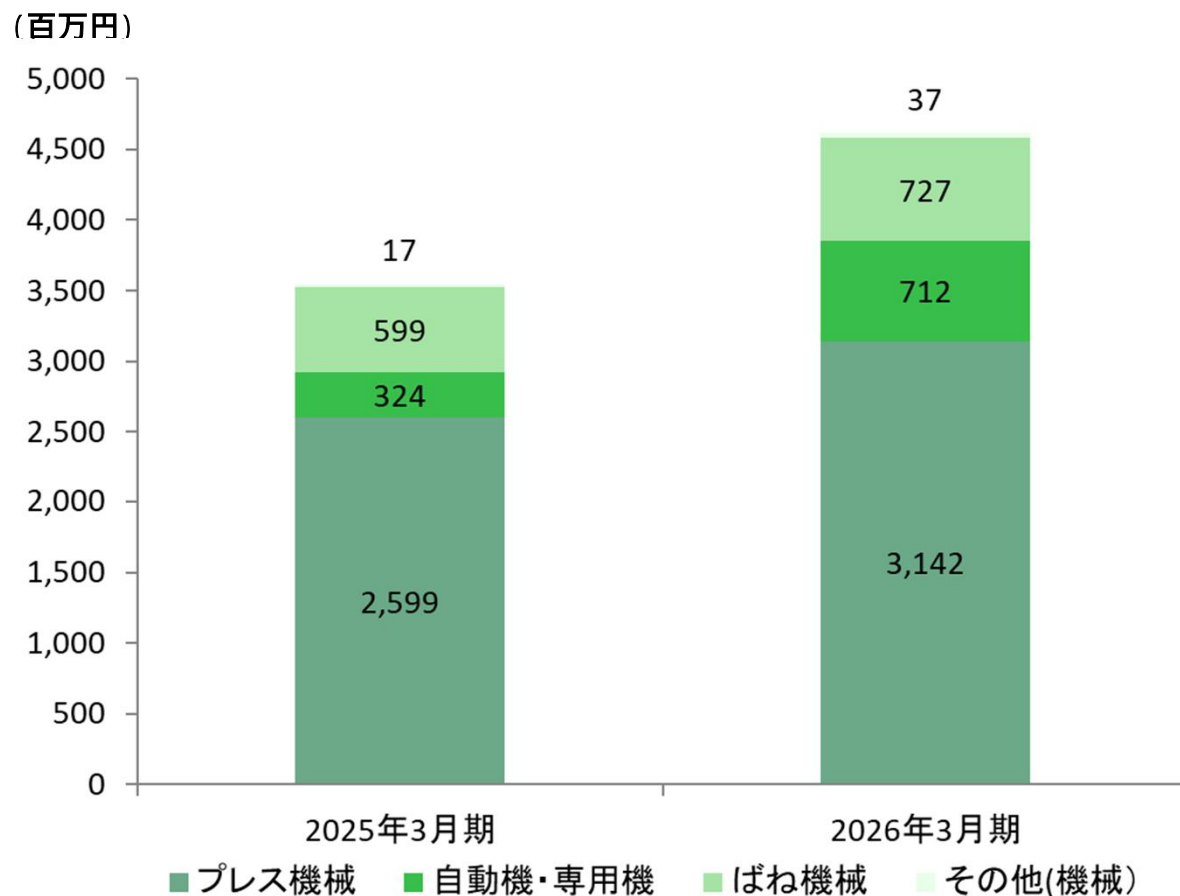


2026年3月期 機械事業部 事業部別業績概況

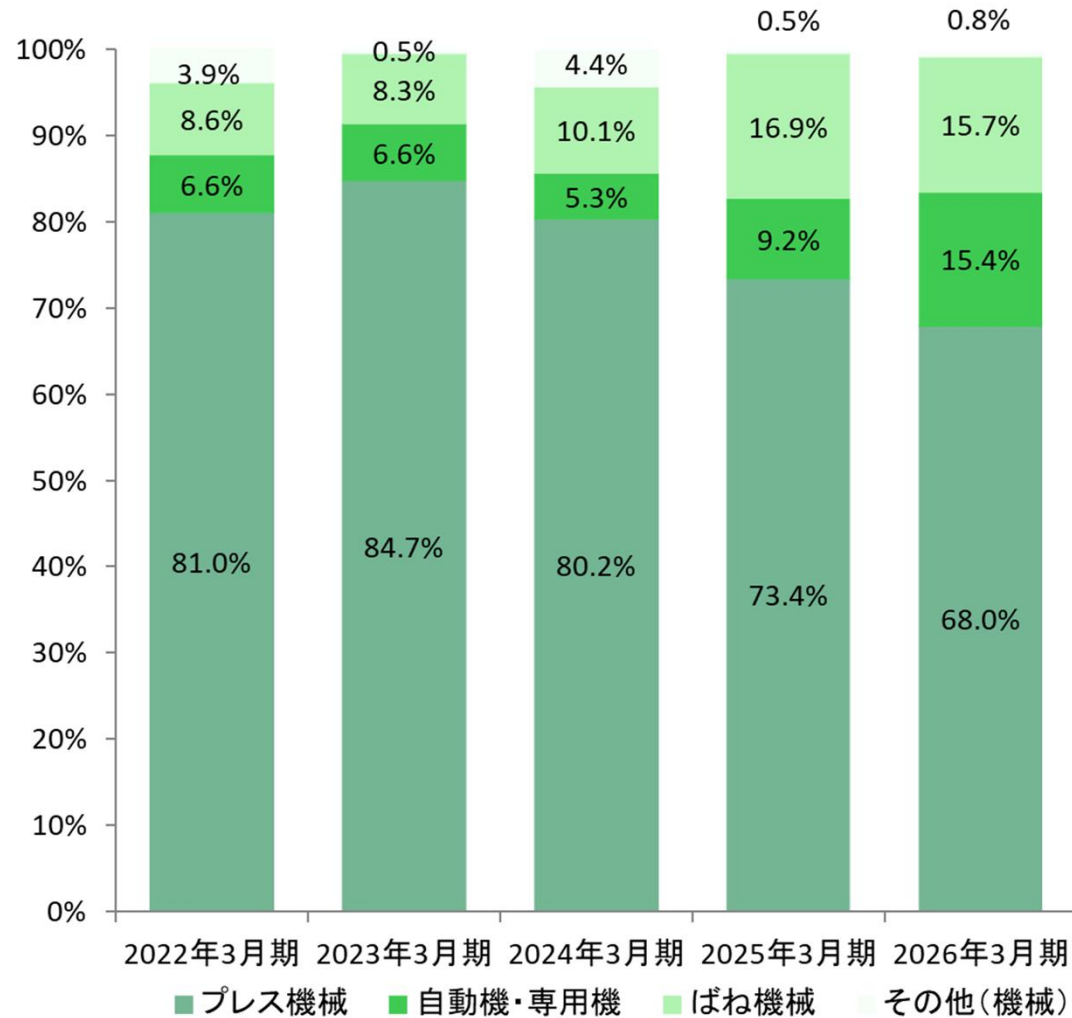
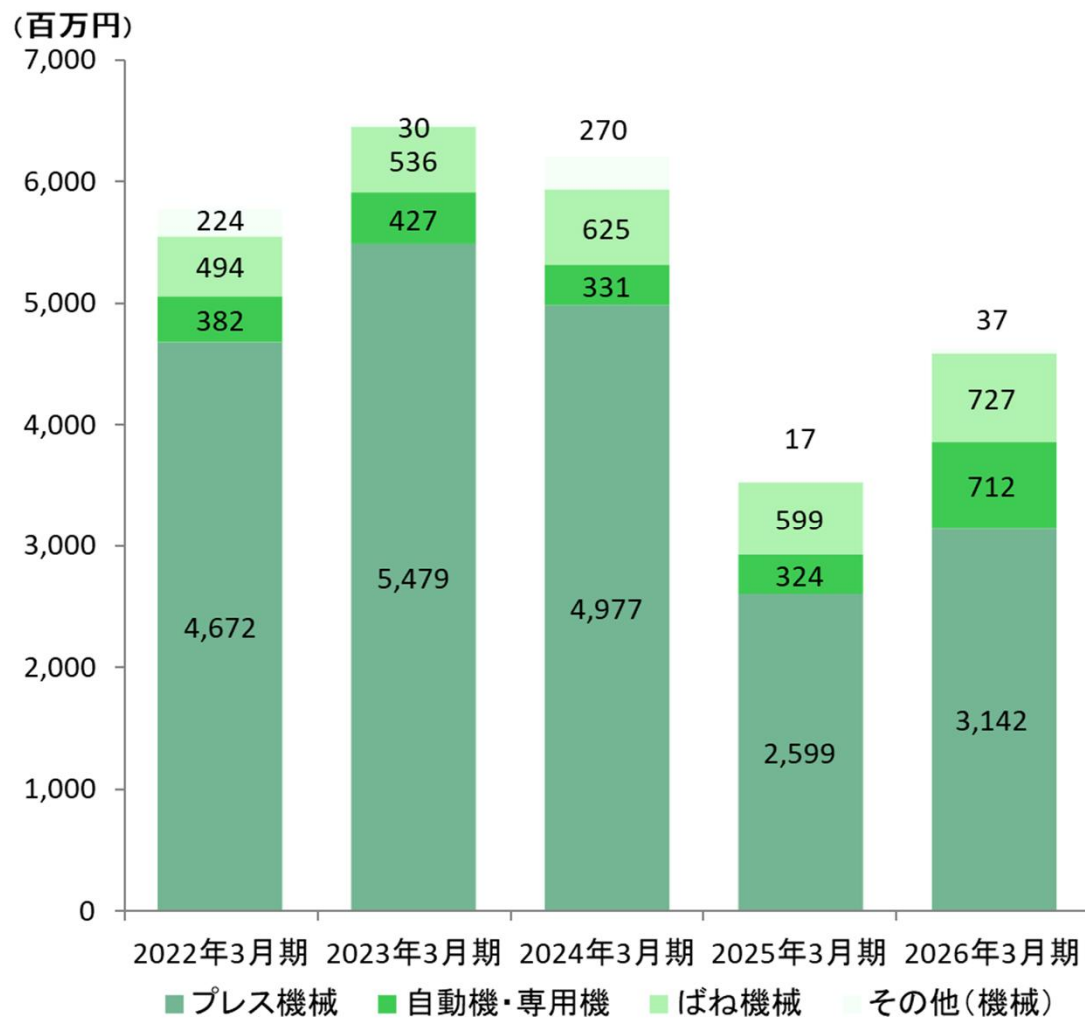


(単位:百万円)

	2025年3月期	2026年3月期
プレス機械	2,599	3,142
自動機・専用機	324	712
ばね機械	599	727
その他(機械)	17	37
合計	3,541	4,619



2026年3月期 機械事業部 売上推移及び構成比



業績予想

(単位:百万円)	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期 (予想)	前年比
売上高	13,100	13,143	11,768	13,393	14,500	8.3%
営業利益	348	44	121	123	50	59.4%
経常利益	428	0	35	177	40	77.5%
当期純利益	295	114	287	803	30	96.3%
1株当たり当期純利益	118円78銭	45円99銭	115円60銭	337円04銭	13円09銭	-
1株当たり配当金	70円00銭	70円00銭	60円00銭	60円00銭	60円00銭	-
配当性向	58.9%	152.2%	51.9%	17.8%	458.5%	-

セグメント別売上高及び設備投資・減価償却費予想



セグメント別売上高推移及び予想

(単位:百万円)	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期 (予想)	前年比
精密加工事業部	6,625	6,937	8,227	8,774	10,750	22.5%
精密金属加工品	3,653	3,725	3,851	4,108	6,650	61.9%
小口径銃弾	2,971	3,212	4,375	4,665	4,100	12.1%
機械事業部	6,474	6,205	3,541	4,619	3,750	18.8%
プレス機械	5,479	4,977	2,599	3,142	2,450	22.0%
自動機・専用機	427	331	324	712	600	15.7%
ばね機械	536	625	599	727	670	7.8%
その他(機械)	30	270	17	37	30	18.9%
合計	13,100	13,143	11,768	13,393	14,500	8.3%

設備投資(工事ベース)・減価償却費の推移及び予想

(単位:百万円)	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期 (予想)
設備投資	825	916	781	3,351	835
減価償却費	697	671	745	767	1,125

Topic 1. 次世代自動車部品(xEV部品)工場の稼働開始

2025年7月31日の適時開示においてお知らせしましたxEV部品の製造増強につきまして、予定通り量産を開始いたしました。

本工場は本社敷地内の既存工場を変更のうえ新たな生産体制を構築しており、xEV用の電池外装部品を製造しております。

新工場の本格稼働により、長期的に成長が期待されるxEV部品関連ビジネスにおいて当社の存在感を高めるとともに、引き続き高難度の精密プレス金属加工部品の安定供給を通じて、お客様の「価値の創造」をサポートし続けられるよう、努めてまいります。



(次世代自動車部品工場)

Topic 2. ダブルワーキングプレス機械の開発

当社は製品外径がおよそφ21mmの円筒形リチウムイオン電池缶(通称21缶)の生産性向上を目的とした新機種のプレス機械を開発しております。

本機種はダブルワーキングシステムにより1ストロークで2個の製品を同時排出します。またメインスライドにリニアガイドを採用するなどして高速化やメンテ性の向上も併せて実現します。

従来の構造や方法に囚われず果敢に研究を積み重ね、お客様の期待に応えるべく、引き続き新機種の開発を進めてまいります。



(ダブルワーキングプレス機械)

Possibility

Technology opening up new possibilities

 **旭精機工業株式会社**

IRに関するお問い合わせ先
旭精機工業株式会社 事業開拓・IR室
TEL:0561-52-5356

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその現実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。